

# 寺報

龍正寺

日なた 121号

侍也

自分自身で

気が付く

事なり

日延



<平成30年6月>

宝龍会  
護持会

# 子供祈禱会を開催しました



茶話会のごちそう、おいしそう!!



堂内は鯉のぼりや風船でいっぱいです



家族みんなでお焼香しました



我が子の為に南無妙法蓮華経…



みんなでびっくり箱を作ったヨ



パパと一緒に叩きます…  
少し恥ずかしい〜



何が出るかな〜?お・た・の・し・み!

## ● 怪職一言 ● 「偉せ」

寺には参拝の方以外にも、相談事で来られます。私たちは目の一番近い所にある、まっ毛が見えないと同じように、困った時苦しい時は、自分自身の事が一番見えなくなっています。

自分自身を見つめ直すには、人の振りを見て我が振りを直せとの言葉の如くです。しかし私たちは、甲々言葉のようには出来ません、思う様に存らないと感情的になってしまいます。感情的になった時一度立ち止まって見る、そして振り返る事、夫婦、親子でも、皆心の持ち方、考え方、思いは違えます。私自身も今までの事を振り返った時、感情的になり怒鳴ったりして回りの方に不快感をおたえていました、自分自身を見つめ直し考え方、心の思いの違いに気が付いた時、それは感謝の気持ちに変わり偉せを感ずる様になりました。

自分自身の思いを押し付けても偉せには  
なりません。偉せは周りからあたえてもら  
うものではないかと思ひます。日々の感謝  
が喜ぶ心偉せとに導いて頂けるのではない  
でしょうか。

穏やかな日々の偉せをお祈り申し上げます。

合 掌

7月は御盆です。寺院では7月8日午後1  
時より盂蘭盆施餓鬼法要を行います。

# 「へんげ 変化の術？」

昨年の夏頃に禁煙を決行してから10ヶ月目となりました。  
それまでの私は1日に2箱(40本)を吸う愛煙家でした。  
過去に禁煙外来病院にも通いましたが見事に失敗をし、  
自分の意志の弱さに嘆く事もありました...

そんなある日... 昨年の6月頃に私の眠るベッドで深夜の  
事がありました...

横を向いて寝ている私の手の前に掛布団の外側から  
4本の指が立っており、眠っている私も無意識にその指  
が私の手に触れて気付きました... すると反対の私の  
背中に誰かが右手を当てて来ました。

私は「南無いばく人の手だ！夢ではない！」と思い  
寝たふりをしていたのですが、勇気を持って後ろを振り向き  
ました。

しかし... そこには誰もいません。

時間にして10秒程でしたが、左手の4本指といい、  
右手の背中に当てられた感触といい... 現実でした。

翌日に、その事を佐々木さんに話してみると...

「病院に行きなさい」と告げて頂き

恐る恐る健診に行ってみると...

レントゲンの結果が「肺がん」という病名でした。  
これは肺気腫の一手前が肺に風船の如きものが  
2個できていました。

その結果を佐賀の人に告げてみると...

「それを変化の術によって仏様が知らせた  
のだから。」

と告げられた。

私はそれ以来 30年愛煙はタバコを辞めました。

“さ、仏様が私に生きる”と教示して下さいのだと  
思っています。 女の孫でいら命は短くはなかったかと  
今でもそう思い、改め感謝の気持ち一杯です。

今では身体も軽くなり、風邪も引かなくなりました。

服や身体にタバコ臭さも無くなりました...

何れもご飯が美味しく頂けています(笑)

昨年夏のことも不思議な出来事でした。

♡ 迷う事なく…お題目を! ♡

今年弟が53才で介護福祉士になりました。

家族全員、大喜びです。

真面目な優しい弟ですが、その長所が欠点になり、

うまく人と関わらず、仕事も一生懸命過ぎて壁にぶち

当たる事も多い人生でした。

大病を患い、その為に転職も多くどうして弟だけか

…と苦しみました。

姉弟の中で負えクジを引いてしまっているように思えて

不憫でした。その弟に時には怒ったり、宥めたりい

いっまでも幼き頃の弟のように思えていました。

福祉の世界に入ると言った時も“絶対向いていないか

ら。” “決して甘い世界ではないよ。”と福祉の世界に

先に入った者としてはとても不安でした。

やはりヘルパー資格もなかなか取れず、あきらめるかなと

思っていましたか、それを乗り越えて資格を取りました。

しかし、今回の介護士は“絶対無理、仕事をしなから免

強する大変さを知っているかゆえに、とても心配しました。



しかし、彼はすんなりと合格したので、

もっと驚きな事は、他の仕事の時、不平不満が多かったのですが、今は以前のような言葉を聞く事はほとんどありません。

以前、御住職に教えて頂いた言葉を思い出しました。“あなたか本気で変われば、必ず家族・実家の弟さんも変わっていきますよ。薄皮をはぐごとくに…。何かあっても決して迷う事なく、お題目を唱えなさい。”、そして今、法華經とご縁を頂き、佐口上人の御指導を頂いた事に心より感謝しております。

朝夕のお題目は、自然に呼吸をしているように、心身に浸透していきます。

そして、良き変化、希望を頂ける新たなエネルギーになります。

これから迷う事なく、日々精進したいと思っております。



# — 育見は育自 —

先日、小学校からの幹旋で「子どもの心」に自信を育てる」という家庭教育講座に参加させて頂きました。

「<sup>いっしょ</sup>育見は<sup>いっしょ</sup>育自」。子育てを通して、自分を育て、自分も子どもと一緒に成長していくという言葉から始まった講座でした。私達はつい、相手の長所より短所に目がいきがちで、よく注意したり不満を言ったりしてしまいます。でも、長所に目を向けて、それを伸ばせば、短所もかくれるものなので、意識してプラスの声かけをしよう!! というのが一点目でした。子どもが学校から帰って来て、靴が散らかってしまっても、「靴を揃えなさい!」か一声ではなく、「今日も元気に帰って来てくれた。」と思えば、かける言葉は変わります。勿論、躾として教えることも大切ですが、家に帰って来て、家族が笑顔で迎えてくれたら、学校での疲れもさっと吹き飛ばすでしょうね♡

二点目はスキンシップ。肌の温もりです。小さな

子は抱きしめてあげると落ち着き、大きな子には肩にポンッと手をあてるだけでもいいそうです。この奥で知らずい間に信頼が生まれ子どもの心も安定すると話されました。以前、毎晩手をつないで寝ている小学2年生の子が山で行方不明になってしまい施設のマットにくるまって、5日間淋しい夜を過ごした時、頑張ったのは、必ず家族が迎えに来てくれる...という安心感があったからだったという報道を目にしたことがあります。子どもに乗り越える力を与えるのも家庭の役割です。

講座を聞きながら、まずは私達が自分を好きになること、自分自身の自己肯定感を育てることが大切だと感じました。心の持ち方によって、言葉も変わるし、思いも変化します。自分の長所、何個言えますか？ プラス思考、笑顔、スキンシップは、今からでもすぐに実践できることだと思います。私も意識して、子どもと一緒に成長していきたいです。

## < 6月の行事 >

6月 13日 (水) 10:00~ 宗祖日蓮大聖人 報恩会

6月 18日 (月) 10:00~ 鬼子母尊神・七面大明神 祈禱会

## < 住職の予定 >

6月 4日(月) 5日(火) 七面山登山参拝

## < 6月の予定 >

6月 6日 (水) 各2の時間で 報恩会の清掃・準備

}

6月 12日 (火)



6月 13日 (水)

法要後

報恩会片づけ・祈禱会準備

6月 14日 (木)

各2の時間で

祈禱会 清掃・準備

}

6月 17日 (日)

